



ひじ やすお

第18号 臂泰雄 をお送りいたします

県政報告

地方議会の役割とは

県議会議員として二期目の任期も三年目となりました。特に今年は自民党県連の県議団長という役職をいただき、大きな責任を感じながら議会活動に取り組んでおります。こうした立場で活動できますのも後援会を始めご支援いただいている皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、今年の正月を過ぎたあたりから国政の混乱が始まりました。連日スクランダラスな報道や資質が疑われるような大臣の対応、質問に対し木で鼻を括ったような答弁もあって内閣の支持率低下につながってきました。国会の状況を見ると「受動喫煙防止法」等の地方に大きな影響を及ぼす可能性がある法案も地方の声を聞いて十分な議論がなされていたとは言えません。こうした一連の動きから、国は地方公共団体（地方議会を含め）との連携や調整より実体のない幻の国民を想定して国政を運営しているように思えてなりません。国民の一人一人を見ればそれぞれ市町村民であり都道府県民であります。その国民が住む地方には様々な違いがあり、決して平均値や中央値をもって一括りにあるべき形として纏められるものではありません。十年ほど前、地方創生を掲げて国の形を変えようとした歩みは止まってしまったのでしょうか。今こそ地方創生の意味を再確認する時だと考えます。

報道等ではあまり明確にされていませんが、国会で問題となっている特区の申請などは対象となる地方公共団体の問題であるはずで、自立した地方公共団体の一翼を担う地方議会はしっかりとその役割を自覚していなければなりません。県議会は国や市町村を補完し一層の連携を果たしつつ県行政の課題解決に向かう必要があります。こうした地方議会の原点に立ち、自分の理想とする「共に生きる」という共生社会の実現のために今後とも真摯に議員・議会活動に望みますので更なるご理解とご指導をお願いいたします。

お話ください。調べ、考え、動きます。(HPやブログもご覧ください)

住所 伊勢崎市豊城町2150番地

TEL 25-9339 FAX 23-9616

HP <http://www.hiji-yasuo.jp> E-mail elbow@at.wakwak.com



議会・議員活動の所属について

環境農林常任委員会（環境森林部・農政部を所管）

労働力確保・働き方改革に関する特別委員会（副委員長）

議会運営委員会・議会基本条例推進委員会委員

自由民主党群馬県支部連合会伊勢崎支部長・自民党群馬県連（県議団長）

北朝鮮拉致議連、農政振興議連、社会資本整備推進議連（合併浄化槽部会長）

医療・福祉議連、歴史遺産を守る議連、環境・新エネルギー議連、観光振興議連

スポーツ振興議連、商工議連、林政議連、群響支援議連 他

議会活動報告

平成28年 第3回定例会【決算審議を含む】（9月20日～12月15日）

平成29年 第1回定例会【予算審議を含む】（2月20日～3月22日）

一般質問

第2回定例会（5月25日～6月16日）

一般質問

一般質問の項目と内容

（平成29年 第1回定例会 2月27日）【傍聴者105名】

障害者福祉施策（障害者リハビリテーションセンターの整備）

県民生活問題（県民会館の改修計画）

教育問題（小学校英語の教科化）

環境問題（生物多様性ぐんま戦略の策定・緑の県民基金事業・一般廃棄物処理
サケの遡上・河川整備・汚水処理人口普及率ステップアッププラン）

地元問題（男井戸川整備・伊勢崎都市計画道路北部環状線整備）



（平成29年 第2回定例会 5月31日）【傍聴者125名】

県議団長として登壇

警察行政（警察本部の組織運営・群馬県犯罪被害者等基本計画）

児童福祉（児童虐待・子どもの生活実態調査）

教育問題（大学入試の英語試験・高校募集定員の見直し）

県民生活（コンベンション施設・弾道ミサイルへの対応）

障害福祉施策

一般質問は県議会のホームページから動画でご覧いただけます。

調査活動報告

- 調査日 平成29年4月28日～30日
調査地区 岩手県釜石市、大槌町、大船渡市、
宮城県大崎市ほか
調査内容 復旧復興に向けた取り組みの進捗状況と
ラムサール条約登録湿地の調査



大船渡市のイベントにて

調査を終えて

震災後6年が経過しました。大槌町では盛土工事が完成になってきましたが商店や住宅の建設が積極的に行われている状況ではありません。隣の釜石市では大型商業施設の一人勝ちで地元商店街の衰退を懸念していましたが、活気にあふれた雰囲気の中で心配は杞憂に終わりそうです。一方の大型商業施設は連休の昼食時というのに人も疎らで今後の対応を注視したいと思いました。また昨年から調査に入った大船渡市では商業施設のオープンイベントに立ち会うことができました。復興に先進的な取り組みをされている戸田市長さんやおおふなと復興応援特別大使の宮川大助・花子さんとも言葉を交わすことができ有意義な視察となりました。

災害により多くの尊い生命と財産が失われました。そうした犠牲となった人々の思いを決して無駄にしてはなりません。復興とは街並みを被災前の状態に戻すことではありません。理想を持って新しいまちづくりをすることが大事だと思います。そこにある自然は以前と変わることはありません。そしてそこで育まれた伝統文化は変わることなく伝えて行かなければなりません。理想と現実の狭間で可能な限り新しいまちづくりを追求して行く困難な作業に取り組まれている被災地をこれからも支援して行く必要があると考えます。

文教警察常任委員会調査

調査期間 平成28年7月26～28日

- (1) 兵庫県教育委員会
- (2) 大阪府立中央聴覚支援学校
- (3) 堺市博物館
- (4) 大阪府警察本部

調査期間 平成28年8月22日

- (1) 県立沼田特別支援学校(沼田市)
- (2) 名胡桃城址(みなかみ町)

調査期間 平成28年10月18日

- (1) 長野原警察署 川原湯駐在所
- (2) 県立図書館(前橋市)

調査期間 平成29年1月26日

- (1) 県警察学校
- (2) 県警察鑑識科学センター

調査期間 平成29年4月27日

- (1) 県立中央中等教育学校

こども未来県民総活躍に関する特別委員会調査

調査期間 平成28年8月31日～9月1日

- (1) 大学連携支援センター「Fスクエア」
- (2) 福井県庁
- (3) 石川県庁



県立図書館の視察状況



県立中央中等教育学校の視察状況

今年度の予算概要

平成29年度 一般会計予算額

7,245億円 (28年度当初予算比 +0.4%の増)

【参考】 ※ 平成28年度予算額： 7,216億円 前年度比 +0.8%

※ 平成27年度予算額： 7,160億円 前年度比 +5.0%

(1) 歳入関係

- ・ 県税収入 2,350億円 (前年度 2,490億円)
- ・ 地方交付税 1,150億円 (前年度 1,256億円)
- ・ 県債発行額 1,185億円 (前年度 921億円) 県債依存度 16.4%
臨時財政対策債 460億円 (前年度 395億円)
- ・ 減収補てん債(※注) 156億円 (前年度 一皆増)

※ 県税収入の減に見合った地方交付税の増額が見込めないため減収補てん債を計上

(2) 歳出関係

- ・ 人件費 2,253億円 (前年度 2,280億円)
- ・ 公債費 1,062億円 (前年度 1,074億円)
- ・ 社会保障関係費 972億円 (前年度 922億円)
- ・ 公共事業費 824億円 (前年度 836億円)



(3) 4つの重点項目

1、地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2、誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3、産業活力の向上・社会基盤づくり

4、県政改革の推進



傍聴された皆様と

これからも8つの約束を実行します

- ① 地域独自の歴史や文化の保護と活用
- ② 自然環境の保全や保護、ごみ処理、節電、リサイクルなど環境保全対策
- ③ 生きることの素晴らしさを実感し未来に希望の持てる教育の実現
- ④ 市町村との連携を深め補完機関として県行政の組織と機能の充実
- ⑤ 高齢者や障害のある方々と連携し医療福祉の充実を図る
- ⑥ 社会資本整備の促進と合併市町村の地域差を解消し均衡ある発展を図る
- ⑦ 地域の特性や人材を活かして農業・商工業の発展を図る
- ⑧ 警察と地域の連携を図り安心安全な街づくりを目指す

『県政報告会と感謝の集い』を開催します

日時 10月1日(日)午後2時30分 場所 伊勢崎市文化会館 大ホール

内容 第一部 県政報告会

第二部 お楽しみ(立川談幸師匠・さこみちよさん)

※ 地区役員又はFAX、メールで9月25日までにお申し込み下さい